

第5期横須賀市障害福祉計画  
(第1期横須賀市障害児福祉計画  
を含む)の進行管理について

# ■数値目標

## ①施設入所者の地域生活への移行

計画における数値目標

		平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 2年度末 累計
平成28年度末時点の入所施設利用者数 ①		332			—
入所施設利用者数 ②	令和2年度末時点の利用者数	332			—
	実績(人)	324	325	320	—
入所施設利用者数の減 ①-②	令和2年度末時点の減少見込数(人)	0			—
	実績(人)	8	7	12	—
地域生活移行者数	令和2年度末までの累計移行者数(人)	12			12
	実績(人)	0	3	0	3

## ②精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

		平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
精神障害にも対応した地域 包括ケアシステムの構築	令和2年度末時点の目標	協議の場を設置		
	実績	設置	設置	設置

## ③地域生活支援拠点の整備

		平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
地域生活支援拠点等の 整備	令和2年度末時点の目標	1か所設置		
	実績	0	0	0

## ④福祉施設から一般就労への移行等

		平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
一般就労移行者数	令和2年度までの目標	77		
	実績(1年あたり人)	54	51	58
就労移行支援事業の 利用者数	令和2年度末時点の目標(人)	120		
	実績(人)	91	88	112
就労移行率3割以上の 就労移行支援事業所の割合	令和2年度末時点の目標(%)	50%以上		
	実績(%)	14%	57%	38%
就労定着支援による支援開始 から1年後の職場定着率	職場定着率(%)	80%以上		
	実績(%)	—	89%	81%

※網掛けは速報値

## ⑤障害児支援の提供体制の整備等

		平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
児童発達支援センターを 設置	令和2年度末までの目標	1か所設置		
	実績	1	1	1
医療的ケア児が適切な支援を受け られるように協議の場を設置	令和2年度末時点の目標	協議の場を設置		
	実績	設置	設置	設置
保育所等訪問支援を 利用できる体制を構築	令和2年度末までの目標	体制を構築		
	実績	未構築	未構築	未構築
重症心身障害児を支援する児童 発達支援事業所及び放課後等デ イサービス事業所を確保	令和2年度末までの目標	1か所以上確保		
	実績	1	1	1

# ■障害福祉サービス等の見込量

## ①訪問系サービス

### 計画における見込量

		平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
訪問系サービス 合計	見込量(時間)	14,150	14,261	14,372
	実績(時間)	12,864	12,292	13,406
	見込利用者数(人)	683	688	693
	実績利用者数(人)	628	585	604
[内訳(実績)]				
居宅介護	見込量(時間)	11,637	11,544	11,451
	実績(時間)	10,341	9,908	10,301
	見込利用者数(人)	599	597	595
	実績利用者数(人)	560	522	536
重度訪問介護	見込量(時間)	1,496	1,634	1,772
	実績(時間)	1,469	1,730	2,373
	見込利用者数(人)	11	12	13
	実績利用者数(人)	6	6	16
行動援護	見込量(時間)	7	7	7
	実績(時間)	36	17	51
	見込利用者数(人)	1	1	1
	実績利用者数(人)	5	3	2
重度障害者等包括支援	見込量(時間)	0	0	0
	実績(時間)	0	0	0
	見込利用者数(人)	0	0	0
	実績利用者数(人)	0	0	0
同行援護	見込量(時間)	1,010	1,076	1,142
	実績(時間)	1,018	637	683
	見込利用者数(人)	72	78	84
	実績利用者数(人)	57	54	50

(備考)数値は1か月あたり。

②日中活動系サービス

計画における見込量

		平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
生活介護	見込量(人日)	20,328	21,216	22,104
	実績(人日)	18,136	19,586	20,598
	見込利用者数(人)	1,090	1,129	1,168
	実績利用者数(人)	1,056	1,096	1,070
自立訓練 (機能訓練)	見込量(人日)	226	244	262
	実績(人日)	242	207	188
	見込利用者数(人)	23	24	25
	実績利用者数(人)	22	20	17
自立訓練 (生活訓練)	見込量(人日)	274	276	278
	実績(人日)	79	55	68
	見込利用者数(人)	14	14	14
	実績利用者数(人)	4	4	5
就労移行支援	見込量(人日)	2,177	2,437	2,697
	実績(人日)	1,602	1,507	2,216
	見込利用者数(人)	136	154	172
	実績利用者数(人)	91	88	112
就労継続支援 (A型)	見込量(人日)	1,000	1,101	1,202
	実績(人日)	1,164	1,672	1,966
	見込利用者数(人)	49	54	59
	実績利用者数(人)	61	84	104
就労継続支援 (B型)	見込量(人日)	8,234	8,808	9,382
	実績(人日)	7,282	7,260	8,475
	見込利用者数(人)	460	491	522
	実績利用者数(人)	440	429	465
就労定着支援	見込利用者数(人)	8	13	16
	実績利用者数(人)	37	55	60
療養介護	見込利用者数(人)	68	74	80
	実績利用者数(人)	54	56	58
短期入所 (福祉型)	見込量(人日)	1,915	2,201	2,487
	実績(人日)	1,481	1,297	1,276
	見込利用者数(人)	403	470	537
	実績利用者数(人)	324	284	261
短期入所 (医療型)	見込量(人日)	48	56	64
	実績(人日)	28	20	18
	見込利用者数(人)	36	47	58
	実績利用者数(人)	4	3	3

(備考)数値は1か月あたり。

③居住系サービス

計画における見込量

		平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
自立生活援助	見込量(人分)	1	1	1
	実績(人分)	0	0	2
施設入所支援	見込量(人分)	332	332	332
	実績(人分)	326	326	320
共同生活援助	見込量(人分)	308	328	348
	実績(人分)	315	360	378

(備考)数値は1か月あたり。

#### ④計画相談支援等

		平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
計画相談支援	見込量(人分)	289	331	373
	実績(人分)	245	325	353
地域移行支援	見込量(人分)	1	1	1
	実績(人分)	1	1	2
地域定着支援	見込量(人分)	1	1	1
	実績(人分)	1	1	1

(備考)数値は1か月あたり。

#### ⑤障害児通所支援等

##### 計画における見込量

		平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
児童発達支援	見込量(人日)	1,249	1,313	1,377
	実績(人日)	1,469	1,767	1,993
	見込利用者数(人)	240	259	278
	実績利用者数(人)	228	266	283
医療型 児童発達支援	見込量(人日)	158	158	158
	実績(人日)	92	57	44
	見込利用者数(人)	17	17	17
	実績利用者数(人)	15	10	8
放課後等 デイサービス	見込量(人日)	8,713	9,857	11,001
	実績(人日)	7,661	7,867	9,323
	見込利用者数(人)	877	989	1,101
	実績利用者数(人)	807	800	853
保育所等訪問支援	見込量(人日)	0	34	34
	実績(人日)	3	1	1
	見込利用者数(人)	0	17	17
	実績利用者数(人)	2	1	1
居宅訪問型 児童発達支援	見込量(人日)	0	16	16
	実績(人日)	0	0	0
	見込利用者数(人)	0	4	4
	実績利用者数(人)	0	0	0
福祉型 障害児入所支援	見込量(人日)	682	682	682
	実績(人日)	723	868	837
	見込利用者数(人)	22	22	22
	実績利用者数(人)	25	28	27
医療型 障害児入所支援	見込量(人日)	321	321	321
	実績(人日)	318	274	248
	見込利用者数(人)	11	11	11
	実績利用者数(人)	12	9	8
障害児相談支援	見込量(人)	178	226	274
	実績(人)	95	138	115
医療的ケア児の支援を調整 するコーディネーターを配置	見込配置数(人)	0	0	1
	実績(人)	0	0	0

(備考)数値は1か月あたり。(ただし、コーディネーターの配置人数を除く。)

# ■地域生活支援事業の見込量

## ⑥相談支援事業等

		計画における見込量		
		平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
理解促進・ 研修啓発事業	見込	実施		
	実績	実施	実施	実施
自発的活動支援事業	見込	実施		
	実績	実施	実施	実施
障害者 相談支援事業	見込量(か所)	4	-	-
	実績(か所)	4	5	5
基幹相談支援 センターの設置	見込	-	-	-
	実績	-	-	-
基幹相談支援センター等 機能強化事業	見込	-	-	-
	実績	-	-	-
住宅入居等支援事業	見込	-	-	-
	実績	-	-	-
成年後見制度 利用支援事業	見込量(人)	5	5	5
	実績(人)	5	4	4
成年後見制度 法人後見支援事業	見込	実施		
	実績	未実施	未実施	未実施

(備考) 基幹相談支援センター等については平成30年度に関係機関等と協議して決めていきます。

## ⑦意思疎通支援事業

		平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
手話通訳者 派遣事業	見込量(件)	1,043	1,043	1,043
	実績(件)	1,007	970	799
要約筆記者 派遣事業	見込量(件)	273	273	273
	実績(件)	277	225	30
手話通訳者 設置事業	設置見込者数(人)	2	2	2
	設置者数(人)	2	2	2
手話奉仕員 養成研修事業	修了見込者数(人)	-	-	-
	実績(人)	-	-	-
手話通訳者・ 要約筆記者養成事業	修了見込者数(人)	46	46	46
	修了者数(人)	30	28	13
盲ろう者向け 通訳・介助員派遣事業	見込量(件)	0	0	0
	実績(件)	41	15	1
盲ろう者向け 通訳・介助員養成事業	修了見込者数(人)	9	9	9
	修了者数(人)	9	9	8

(備考) 数値は1年あたり。

⑧日常生活用具給付事業

		平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
介護・訓練 支援用具	見込量(件)	27	27	27
	実績(件)	21	27	20
自立生活 支援用具	見込量(件)	56	56	56
	実績(件)	41	34	51
在宅療養等 支援用具	見込量(件)	66	66	66
	実績(件)	39	38	37
情報・意思疎通 支援用具	見込量(件)	57	57	57
	実績(件)	43	27	27
排せつ管理 支援用具	見込量(件)	5,129	5,194	5,259
	実績(件)	5,230	5,306	5,321
居宅生活動作 補助用具	見込量(件)	15	15	15
	実績(件)	10	9	12
合 計	見込量(件)	5,350	5,415	5,480
	実績(件)	5,384	5,441	5,468

(備考)数値は1年あたり。

⑨移動支援事業

計画における見込量

		平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
移動支援事業 (障害児)	見込量(時間)	6,639	6,671	6,704
	実績(時間)	5,190	5,190	3,400
	見込利用者数(人)	408	410	412
	実績利用者数(人)	321	321	254
移動支援事業 (障害者)	見込量(時間)	12,106	12,541	12,976
	実績(時間)	11,607	11,607	10,252
	見込利用者数(人)	691	695	699
	実績利用者数(人)	701	701	621
移動支援事業 (合計)	見込量(時間)	18,745	19,212	19,680
	実績(時間)	16,797	16,797	13,652
	見込利用者数(人)	1,099	1,105	1,111
	実績利用者数(人)	1,022	1,022	875

(備考)利用者数・時間数は1か月単位。

⑩地域活動支援センター(地域作業所を含む)

		平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
地域活動支援センター (地域作業所を含む)	見込量(か所)	27	27	27
	実績(か所)	27	27	26
	見込利用者数(人)	340	340	340
	実績利用者数(人)	324	345	333

(備考)利用者数は1か月単位。平成30年度はアメグストの実績を除く。

⑪障害児等療育支援事業

		平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
障害児等 療育支援事業	見込量(か所)	0	0	1
	実績(か所)	0	0	0

## 第5期横須賀市障害福祉計画等 数値目標PDCAサイクル管理について

### 1. 施設入所者の地域生活への移行

#### (1) 目標と実績

(人)

		平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
平成28年度末の入所施設利用者数 332①				
入所施設利用者数 ②	令和2年度末時点の入所施設利用者数	332		
	実績	324	325	320
入所施設利用者数の減 ①－②	令和2年度末時点の減少見込数	0		
	実績	8	7	12
地域生活移行者数	令和2年度末までの累計移行者数	12		
	実績	0	3	0

#### (2) 令和2年度の活動内容と指標

##### ①活動内容

グループホーム整備費補助、グループホーム家賃補助、  
指定グループホーム入居生活費扶助、入所等検討会議

##### ②活動指標

(人分)

共同生活援助の利用者		平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
共同生活援助	見込量	308	328	348
	実績	315	360	378

〈参考〉 市内GHの整備状況等	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
市内GH事業所数	57	65	79
市内GH総定員数(人)	287	336	390

※障害者福祉の手引き(資料)(3月1日時点)に掲載された事業所数及び定員数

〈参考〉相談支援給付 令和2年度実績	実利用者数 (人)	障害種別	入院中の精神障 害者(うち退院 者)(人)
地域移行支援	2	精神	0
地域定着支援	1	知的	0



### (3) 令和2年度の評価

市内の入所施設等を集め、施設入所や退所希望者の情報共有を行う入所等検討会議は、新型コロナウイルス感染症により、令和2年度は行うことができなかったこともあり、地域移行した施設入所者はいませんでした。

既に施設入所している方の場合、本人の障害特性により地域の受け入れ態勢が整わないケースもあれば、施設入所側は移行が可能と見立てても、家族の意向、金銭面の負担発生等から、地域移行に進まないケースもあります。また、地域移行をしたいかどうか、本人の意思確認を慎重に行う必要があるため、時間を要します。

また、入所者の重度化・高齢化により、死亡、入院といった理由での退所が多く、全体の施設入所は若干減少しているものの、施設に空きがあればすぐに埋まってしまうという状況は、現在も続いています。

一方で、地域での受け入れ先の確保については、グループホームの整備や家賃等についての補助金を交付し、事業所整備の促進を図っていますが、新しくグループホームができて、同居家族等からの独立を望む障害者ですぐに埋まってしまう状況が続いています。

<参考>令和2年度の退所者数（加齢児を含む）と退所理由の内訳

	死亡・入院	訓練終了	特養	GH	市外転出	施設変更
15	11	2	0	0	1	1

### (4) 令和3年度の活動

入所等検討会議は、新型コロナウイルス感染症の状況を見て、再開する予定です。

引き続き、入所者の有力な地域移行先であるグループホームに対する補助を継続します。

## 2. 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

### (1) 目標と実績

		平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
精神障害にも対応した 地域包括ケアシステムの構築	目 標	協議の場を設置		
	実 績	設置	設置	設置

### (2) 令和2年度の活動内容と指標

#### ①活動内容

協議の場の設置、精神障害者の家族支援に係る事業

措置入院者及び緊急措置入院者の退院後の医療等の継続支援に係る事業

#### ②活動指標

(回)

協議の場の設置		平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
精神保健福祉連絡協議会の開催 (代表者会議)	見込量	1		
	実 績	1	1	1
精神保健福祉実務者連携会議の開催 (担当者会議)	見込量	1		
	実 績	1	2	0

### (3) 令和2年度の評価

「精神保健福祉連絡協議会」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、書面会議を令和3年1月に開催しました。

今回の会議では、精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの取り組み状況について、「横須賀市内・近隣の精神科等の医療機関マップ」の活用について、次年度以降の取り組みについて等を議題としました。

特に、次年度以降の取り組みについては、事務局にて構成要素ごとに現状・課題・今後の取り組み例を作成し、意見等を求めました。

「精神保健福祉実務者連携会議」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために実施しませんでした。

### (4) 令和3年度の活動

昨年度作成した「横須賀市内・近隣の精神科等の医療機関マップ」について、保健所が作成・配布している相談窓口紹介冊子『よこすか心のホットライン』に掲載し、また、保健所入口近くに掲示することで、広く周知等を行うようにしました。

「精神保健福祉連絡協議会」及び「精神保健福祉実務者連携会議」、研修会については、新型コロナウイルス感染症の状況を見て、開催時期や方法について検討する予定です。(令和3年9月現在)

### 3. 地域生活支援拠点等の整備

#### (1) 目標と実績

		平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
地域生活支援拠点等の整備	目 標	1 か所設置		
	実 績	0	0	0

#### (2) 令和2年度の活動内容と指標

##### ①活動内容

知的障害者緊急短期入所事業、自立支援協議会での検討

<参考> 知的障害者緊急短期入所事業 (令和元年度まで)	平成 30年度	令和 元年度
定員数(人)	1	1
利用実績(延利用日数)	83	104
決算額(円)	2,920,000	2,928,000

<参考> 緊急短期入所等受入処遇費扶助 (令和2年度から)	令和 2年度	
受入施設数	—	5
利用実績(延利用日数)	—	26
決算額(円)	—	121,100

※これまで、「知的障害者緊急短期入所事業」では、利用の有無にかかわらず、特定の短期入所事業所に対して定額を支払うことで、年間を通じて1床分の緊急短期入所枠を確保していましたが、令和2年度から、「緊急短期入所等受入処遇費扶助」と制度を改め、対象をすべての短期入所事業所に広げたうえで、国の加算の対象とならない期間に緊急短期入所として利用者を受入れた、重度の障害者を受入れた等の事業所に対して費用を補助することとしました。

### (3) 令和2年度の評価

地域生活支援拠点に必要な5つの機能は（相談、緊急時の受入、体験の場、専門的人材の確保・育成、地域の体制づくり）です。

本市では、まず、基幹相談支援センターを中心に「相談」「専門的人材の確保・育成」「地域の体制づくり」等を整備しつつ、地域の支援体制を整備する面的整備を目指しており、相談支援体制の整備を当面の課題としました。

基幹相談支援センターについては、運營業務を民間事業者に委託するためのプロポーザルを実施しましたが、参加者不在で不調となったため、本市直営で運営することとしました。

また、緊急短期入所等受入処遇費扶助を開始しました。

### (4) 令和3年度の活動

基幹相談支援センターは、4月から「ほっとかん」の地域福祉課内に設置し、運営を開始しました。

専門的人材の確保・育成については、基幹相談支援センターが中心となって、事業所に対し、コンサルティング事業を開始します。

引き続き、自立支援協議会の中で、関係機関と短期入所利用調整についての検討や、地域の体制づくりについての意見交換を行っていきます。

## 4. 福祉から一般就労への移行等

### (1) 目標と実績

		平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
一般就労移行者数	目標	77		
	実績（人／年）	54	51	58
就労移行支援事業の利用者数	目標（人）	120		
	実績（人）	91	88	112
就労移行率3割以上の就労移行支援事業所の割合	目標（%）	50%以上		
	実績（%）	14%	57%	38%
就労定着支援による支援開始から1年後の定着率	職場定着率（%）	80%以上		
	実績（%）	—	89%	81%

※一般就労移行：障害福祉サービスから一般就労へ移行すること

### (2) 令和2年度の活動内容と指標

#### ①活動内容

障害者雇用奨励金、就労援助センター事業、障害者職場定着支援事業（職場定着支援員・職場定着サポーター）、特例子会社等設立支援事業

②活動指標

		平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
就労移行支援事業の利用者	見込量 (人/日)	2,177	2,437	2,697
	実績 (人/日)	1,602	1,507	2,216
	見込量 実人数 (人)	136	154	172
	実績 実人数 (人)	91	88	112

(人)

		平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
就労定着支援事業の利用者	見込量	8	13	16
	実績	37	55	60

<参考> 就労援助センター		平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
登録者数 (人)		1,695	1,810	1,909
(うち新規登録者数) (人)		204	145	124
就労開始者数 (人)		91	86	49
補助金額 (市) (円)		33,873,602	32,899,075	31,871,543

<参考> 雇用奨励金		平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
実利用者 (人)	知的障害	202	218	228
	精神障害	61	57	56
	合計	263	275	284
決算額 (円)		88,480,000	88,885,920	90,065,316

<参考> 特例子会社		平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
特例子会社開設数 (社)		1	1	1
特例子会社等設立支援補助金額 (円)		5,450,000	4,971,000	4,950,000
上記により新規で就労した 市内の障害者数 (人)		9	6	5

### (3) 令和2年度の評価

新型コロナウイルス感染症が拡大し、緊急事態宣言が発出されたことにより、障害者就労支援は大きな影響を受けました。

よこすか就労援助センター登録者のうち、就労開始者数は49人で、前年度に比べて37人減少しています。減少の主な障害種別は精神障害者であり、日常の変化に不安を感じたものと思われまます。

就労移行率3割以上の就労移行支援事業所は市内8事業所中3事業所であり、目標達成できませんでした。

コロナ禍ではありましたが、特例子会社のパーソルサンクス株式会社が、市内によこすか・みうら岬工房大矢部を開設して障害者を雇用し、農作物に係る自主製造品の梱包、発送、加工業務を開始しました。

この他、農家に対し農福連携の取り組みを周知するため、令和3年3月に「農業と福祉の連携推進ガイド」を作成・配布しました。

### (4) 令和3年度の活動

特例子会社等を誘致するため、関係機関に対して制度周知のチラシを送付し、配布の協力をお願いしています。

また、農福連携の推進では、障害のある中学生を対象とした農業就労体験事業を実施する予定です。就労としての農作業に関する情報を提供し、職業選択の一つとしていただきます。

他にも、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況ですが、ハローワークよこすか、よこすか就労援助センター、横須賀商工会議所等と、障害者の一般就労に係る情報交換に努めていきます。

## 5. 障害児支援の提供体制の整備等

### (1) 目標と実績

		平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
児童発達支援センターを設置	目 標	1か所設置		
	実 績	1	1	1
医療的ケア児が適切な支援を受けられるように協議の場を設置	目 標	協議の場を設置		
	実 績	設置	設置	設置
保育所等訪問支援を利用できる体制を構築	目 標	体制を構築		
	実 績	未構築	未構築	構築
重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所を確保	目 標	1か所以上確保		
	実 績	1	1	1

## (2) 令和2年度の活動内容と指標

### ①活動内容

療育相談センター事業、医療的ケア児が適切な支援を受けられるように協議の場を設置、保育所等訪問支援の体制構築に向けた検討を開始

### ②活動指標

本計画の目標は国が示した指針において、目標として設定することが適当とされたものを、既に設置されているものも含めて掲げています。

		平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
保育所等訪問支援	見込量 (人/日)	0	34	34
	実績 (人/日)	3	1	1
	見込量 実人数 (人)	0	17	17
	実績 実人数 (人)	2	1	1
居宅訪問型児童発達支援	見込量 (人/日)	0	16	16
	実績 (人/日)	0	0	0
	見込量 実人数 (人)	0	4	4
	実績 実人数 (人)	0	0	0
医療的ケア児の支援を調整する コーディネーターを配置	見込量 (人)	0	0	1
	実績 (人)	0	0	0

## (3) 令和2年度の評価

医療的ケア児が適切な支援を受けられるように協議を行う場の設置については、2年間にわたる神奈川県モデル事業を引き継ぎ、市単独で「横須賀市医療的ケア児等支援協議会」を立ち上げました。書面会議を1回開催し、コロナ禍での困りごと等を共有しました。

「医療的ケア児等コーディネーター」については、神奈川県モデル事業として横須賀三浦圏域での配置を目指し、市町村や関係機関等で検討を始めました。

「保育所等訪問支援」については、横須賀市療育相談センターで令和3年度からサービスを開始できるよう、体制を構築しました。

(4) 令和3年度の活動

「医療的ケア児等支援協議会」は引き続き運営いたします。

「医療的ケア児等支援コーディネーター」については、令和4年度に県の事業として試行するシステムを令和5年度以降に横須賀三浦圏域の市町村が引き継げるよう、体制を構築していきます。

「保育所等訪問支援」については、横須賀市療育相談センターでサービスを開始しました。